

第2次京田辺市男女共同参画計画（改訂版）令和2年度年次評価

第2次京田辺市男女共同参画計画（改訂版）においては、男女共同参画社会を実現するための基本目標を3つ掲げ、各基本目標を達成するための施策として、142の事業（再掲事業4事業を含む。以下、同じ。）を計画的に進めることとしています。

京田辺市男女共同参画審議会では、各事業の実施状況及び評価結果から、次のとおり本計画の令和2年度の年次評価を行います。

第1 事業実施状況

実施状況	事業数	構成比
(1) 実施	129	90.8%
(2) 完了	1	0.7%
(3) 未実施	12	8.5%
(4) 廃止	0	0.0%
合計	142	100.0%

令和2年度に実施した事業は129事業で、全体の約90%の事業を実施することができました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった事業が増え、12事業が未実施となりましたが、それを除けば、概ね実施することができたと言えます。

第2 事業評価結果の概要

令和2年度に実施した事業（129事業）を評価の対象として、各事業の担当課が「実績評価」と「配慮度評価」の二つの視点で、それぞれについて評価を行いました。

【実績評価】結果

評価	事業数	構成比
A 目標水準を上回る	18	14.0%
B 概ね目標水準どおり	96	74.4%
C 目標水準を下回る	15	11.6%
合計	129	100.0%

実績評価Aの事業は18事業、実績評価Bの事業は96事業で、合わせて114事業（88.4%）の事業が、「概ね目標水準どおり」以上の実績となっています。

実績評価Aの事業は令和元年度と比べて13事業減り、実績評価Cの事業は7事業増えました。評価が下がった事業のほとんどは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベントの開催を一部中止したり、参加人数等が減少したために、計画に掲げる目標数値に実績値が届かなかったものです。

【配慮度評価】結果

評 価	事業数	構成比
A チェック（○）の数5～6個	97	75.2%
B チェック（○）の数3～4個	32	24.8%
C チェック（○）の数2個以下	0	0.0%
合 計	129	100.0%

配慮度評価Aの事業は97事業で、新型コロナウイルスの影響で令和2年度に実施できなかった事業が増えたため、令和元年度よりも13事業減少しました。

また、配慮度評価Bの事業が約25%あり、今後も、すべての事業で男女共同参画の視点での十分な配慮がなされるよう、各担当課が意識して取り組んでいく必要があります。

(参考)【配慮度評価】チェック項目別結果

チェック項目	○の 事業数	○の 事業割合
1 固定的な性別役割分担にとられない事業内容になっているか	123	95.3%
2 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が施策に盛り込まれているか	105	81.4%
3 事業実施にあたり、男女双方にとって参加・利用しやすいよう配慮がされているか	120	93.0%
4 男女共同参画の視点に配慮した表現で広報・情報提供を行ったか	117	90.7%
5 計画に掲げる基本目標を意識して取り組んだか	113	87.6%
6 事業分野における男女共同参画の促進に向けて取り組んだか	93	72.1%

一部、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できなかった事業がありましたが、実施した事業のほとんどは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための工夫をしながら実施されており、制限がある中で目標水準どおりまたはそれ以上の実績を上げています。

令和3年度から10年間を計画期間とする「第3次京田辺市男女共同参画計画」においては、計画に掲げるすべての事業を一律に評価するのではなく、目標値を設定して重点的に取り組む「重点取組」と、男女共同参画社会の実現に寄与することを意識して総合的に取組を進めていく「関連する取組」に分けることとしました。

なお、各事業の実施にあたり男女共同参画の視点での配慮を取り入れることについては、各担当課に定着してきているものと思われませんが、すべての事業でさらに十分な配慮がなされるよう、引き続き意識を高めていくことが求められます。